

令和6年度（令和6年4月入学）

# 総合型選抜学生募集要項

出願期間（インターネット出願）

令和5年9月1日（金）～9月5日（火）[必着]

人文学部

教育学部

経済学部

理学部

工学部

国際総合科学部

# 山口大学

出願や入学試験に関する重要な情報・お知らせ等はホームページでお知らせしますので、出願前や受験前は特に確認してください。

山口大学ホームページ（入試関連情報）

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>



# 目 次

## I. アドミッション・ポリシー

- 1. 山口大学のアドミッション・ポリシー ..... 1
- 2. 総合型選抜で求める学生 ..... 10

## II. 募 集 要 項

- 1. 日 程 概 要 ..... 14
  - 2. 募 集 人 員 ..... 15
  - 3. 出 願 資 格 ..... 16
  - 4. 出 願 手 続
    - (1) 出 願 方 法 ..... 16
    - (2) 出 願 期 間 ..... 17
    - (3) 出 願 書 類 等 ..... 18
    - (4) 出 願 書 類 の 郵 送 先 ..... 19
    - (5) 個 人 情 報 の 利 用 に つ い て ..... 21
  - 5. 入 学 者 選 抜 方 法 等
    - (1) 配 点 基 準 一 覧 ..... 22
    - (2) 第 1 次 選 抜 ..... 22
    - (3) 第 2 次 選 抜 ..... 25
    - (4) 障 害 等 の 有 る 入 学 志 願 者 と の 事 前 相 談 に つ い て ..... 29
  - 6. 個 別 の 入 学 資 格 審 査 ..... 31
  - 7. 合 格 発 表 ..... 32
  - 8. 入 学 手 続 ..... 32
  - 9. 入 学 時 に 要 す る 経 費 ..... 32
  - 10. 入 学 準 備 ..... 33
  - 11. そ の 他 ..... 34
- 入 試 成 績 の 情 報 開 示 ..... 35
- 入 学 料 及 び 授 業 料 の 免 除 制 度 ..... 35
- 山 口 大 学 基 金 七 村 奨 学 金 ..... 36
- 大 規 模 自 然 災 害 に よ り 被 災 し た 志 願 者 の 検 定 料 の 免 除 ..... 36
- 学 生 寮 及 び ア パ ー ト 等 ..... 36
- 問 い 合 わ せ 窓 口 ..... 38
- 交 通 の ご 案 内 [吉 田 キ ャ ン パ ス : 人 文 ・ 教 育 ・ 経 済 ・ 理 ・ 国 際 総 合 科 学 部、常 盤 キ ャ ン パ ス : 工 学 部] ..... 39
- (参 考) [提 出 書 式 (見 本)] 志 願 理 由 書、自 己 P R

# I. アドミッション・ポリシー

## 1. 山口大学のアドミッション・ポリシー

### (1) 全学のアドミッション・ポリシー

山口大学は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」を理念に、地域の基幹総合大学及び世界に開かれた教育研究機関として、たゆまぬ研究及び社会活動並びにそれらの成果に立脚した教育を実践し、地域に生き、世界に羽ばたく人材の育成に努めます。

そのために、次のような学生の入学を求めています。

#### ●求める学生像

- 学習意欲・好奇心が旺盛で、チャレンジ精神のある人
- 明確な目的意識をもち、高い目標を掲げて努力してきた人
- 自己アピールできるものを持っている人や見つけたい人
- 自分の考えや意見を論理的に説明できる人

#### ●入学者選抜の基本方針

山口大学の教育理念及び各学部学科のアドミッション・ポリシーに基づき、山口大学の教育を受けるにふさわしい能力・適性などを備えた入学者を受け入れるために、学力の三要素をふまえて評価する入試を実施します。入試ごとに学力の三要素の中で重視する部分を設定して多様な入試を適切な方法で実施し、多面的・総合的かつ公正に選抜します。

一般選抜の前期日程では、高等学校で履修した教科の幅広い基礎学力を大学入学共通テストで評価するとともに、本学での学修に適合する知識・技能を重視し、教科試験を中心として学力を測る個別学力検査を行い、総合的に審査します。

一般選抜の後期日程では、高等学校で履修した教科の幅広い基礎学力を大学入学共通テストで評価するとともに、本学での学修に適合する知識・技能だけでなく、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度・協働性などを幅広く測る小論文、面接などの個別学力検査を行い、総合的に審査します。

総合型選抜では、出願書類や講義等理解力試験、面接を用いて、学部・学科が求める基礎的な学力や知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的に学習に取り組む態度・協働性などを評価し、総合的に審査します。

学校推薦型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない）では、出願書類、小論文、面接を用いて基礎学力や学部・学科が求める知識・技能を測るとともに、思考力・判断力・表現力、主体的に学習に取り組む態度・協働性などを評価し、総合的に審査します。

学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）では、高等学校で履修した教科の幅広い基礎学力を大学入学共通テストで評価するとともに、小論文で思考力・判断力・表現力などを評価し、面接試験や出願書類の内容によって人間性や主体的に学習に取り組む態度・協働性などを評価し、総合的に審査します。

その他の選抜では、多様な背景を持つ人材をそれぞれの特性に基づいて評価し、審査する入試を実施します。

各入学試験で重視するポイント

			基礎的な 学力	学部・学科 が求める知 識・技能	思考力・ 判断力・ 表現力	主体的に学 習に取り組 む態度・協 働性など
一般選 抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		教科試験・実技	○	◎	○	
		小論文 ※1		◎	◎	◎
		面接 ※2		◎	◎	◎
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
		教科試験 ※3	○	◎	◎	
		小論文 ※4		◎	◎	◎
		面接 ※5		◎	◎	◎
総合型選 抜	出願書類	○	◎	◎	◎	
	講義等理解力試験	◎	◎	◎	◎	
	面接		◎	○	◎	
学校推薦型 選抜 I	出願書類	◎	◎		◎	
	小論文		◎	◎		
	面接 ※6		◎	◎	◎	
学校推薦型 選抜 II	大学入学共通テスト	◎	○			
	出願書類		◎		◎	
	小論文 ※7		◎	◎		
	面接		◎	◎	◎	

◎：強く重視して評価する      ○：重視して評価する

※1 教育学部の一部で行っています。

※2 教育学部の一部と医学部の一部で行っています。

※3 理学部の一部で行っています。

※4 経済学部、医学部、工学部、国際総合科学部で行っています。

※5 理学部の一部、人文学部、医学部、農学部、共同獣医学部、国際総合科学部で行っています。

※6 教育学部の一部、理学部の一部、農学部で行っています。

※7 医学部の一部と共同獣医学部で行っています。

各学部・学科のディプロマ・ポリシーを達成するために必要な入学時の学力については、以下の各学部・学科のアドミッション・ポリシーにおいて示します。

## (2) 各学部のアドミッション・ポリシー (総合型選抜を実施する学部・学科等)

### 人文学部

#### ●「教育理念」「目標」

「人間とは何か」という根元的な問いかけを共有し、私たちの世界の過去と現在を見据え、将来のあるべき姿を模索することを通じて、よりよい未来を築く一人ひとりを育てます。

そのために、

- (1) 地域や時代を超えて情報を読み解き、適切に表現できるリテラシー能力を身につけた人材を育成します。
- (2) 人間や社会に関する幅広い教養と専門分野における深い学力を養い、社会の発展に寄与できる人材を育成します。
- (3) 日本と国際社会に対する理解を深め、異文化交流に貢献できる人材を育成します。
- (4) 少人数教育を通じて、自らの課題を発見・探究し解決できる人材を育成します。

#### ●求める学生像

他者や異文化に対する寛容な姿勢と、社会生活の基本的なルールを身につけている人を求めています。豊かな人間性こそ大切だと考え、現代を生きる柔軟な知恵と人文的教養の両方を学びたいと考える人に期待しています。

- ① 私とは何か、存在するとはどういうことかなど、根元的な問いへの関心を持ち、さまざまな物事について自ら深く問う力を鍛えたいと望む人
- ② 私たちはなぜここにいるのか、今後どこに行こうとしているのかなどについて、史料を読解・分析する技量を修得することによって問いたいと望む人
- ③ 現代社会はどのように変化しつつあるのか、どのような方向に進むべきかなどについて、調査・分析の技法を修得することによって問いたいと望む人
- ④ 「ことば」の本質を見つめ、さまざまな地域や時代の言語の特徴を体系的に理解したいと望む人
- ⑤ 多様な文化とその表現に興味を持ち、文学や芸術を深く味わうことを通して人間と社会を見つめてみたいと望む人

#### ●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

入学後は、多角的で多層的な人間探究に携わるのですから、まず「この科目だけを勉強しておけばよい」とか「この分野の勉強は必要ない」というような狭い発想は捨ててください。人文学部の学問では、言葉や文字、もの、そして人と向かい合い、対話することが基本です。様々なジャンルにおける「発展的解釈力」と「コミュニケーション能力」が必要です。国語や外国語の基礎能力が土台になりますが、あらゆる分野における知識や興味関心も、必然的に関与してきます。

人文学部が大学入学共通テストや個別学力検査で課している「国語」「数学」「地理歴史・公民」「外国語（英語）」に関して、高等学校教育課程修了にふさわしい学力を備えていることが最低限必要です。それ以外にも、「理科」「芸術」「情報」「家庭」「保健体育」など、全分野にわたって基礎的・常識的な知識と関心を持っていることも強く望まれます。

## 教育学部

### ●「教育理念」「目標」

教育学部は、理論と実践の融合による総合的人間力の育成を教育理念とし、多様な学問・研究の機会や地域の教育関係者との協働を通して、教育に関する専門的理論と実践的指導力を兼ね備えた教員を養成することを目標にしています。

### ●求める学生像

人間と教育に深い関心を持ち、学校教育や地域社会に貢献しようとする積極的な意欲を持つ人、さらに自らの専門性を十分修得できる基礎的な学力を持つ人を求めています。

- ①子どもを愛し、教育及び教職に強い関心と情熱を持つ人
- ②学校教育における学習指導や生徒指導等に関心を持ち、自らの能力を高め、学校教育に貢献するという強い意欲を持つ人
- ③教職を目指し、常に自らの生き方を謙虚に問いつづける人

### ●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

本学部における教育は、高等学校等で修得する各科目に関して基礎的な学力を有することを前提に行われます。また、論理的な思考力、自分の考えを適切に表現できる力、及びコミュニケーション能力を持っておく必要があります。したがって、本学部に入學するまでに、各コース・選修が課す入試に対応する教科・科目において、次のものを身につけておくことが望まれます。

- ①国語については、現代文、古文、漢文における基礎的な読解力、及び言語文化に対する興味・関心
- ②地理歴史・公民については、各科目における基礎的な知識、及び社会事象に対する関心や探究心
- ③数学については、基礎的な知識と技能、及び基本的な数学的思考方法
- ④理科については、各科目における基礎的な知識、及び自然や科学に対する関心や探究心
- ⑤外国語については、ある程度の長文の読解力、表現力、リスニング能力、及び文法に関する基礎的な知識
- ⑥情報については、情報処理または問題解決における基礎的な知識と技能

## 経済学部

### ●「教育理念」「目標」

経済学部は、「広く社会現象について自ら問いを発見し、その問いの解決の方策をはぐくみ、豊かな社会の構築に貢献する」という観点から、「社会に貢献しうる実践的経済人の育成」を目指しています。そのため、特徴あるコースカリキュラムにおいて知識や技術の修得をはかり、伝統ある少人数教育ゼミナール等において幅広い人間形成を行い、国際社会や地域社会の現実的要請に応えられる、実践的で個性的な人材を育てたいと考えています。

### ●求める学生像

- ①真に人間的な平和・幸福・豊かさを探求し、公正・公平を追求する心を持った人
- ②国や地域を越えた多くの人々との出会いを大切にし、国際社会や地域社会に貢献したいと思っている人

- ③経済社会における諸問題に関心を持ち、経済学関連分野で能力を発揮したい人
- ④経済学・経営学・法学等を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を持っている人
- ⑤入学目的を明確に持ち、自ら問いを見だし、自分の頭で柔軟かつ論理的に考え、他人の意見を尊重しつつ、率直に議論・対話のできるリーダーシップにあふれた个性的な人
- ⑥総合的な視野で現代社会の諸問題を考察し、高度専門職業人等を目指す人

●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

経済学部での4年間をより豊かで充実したものとするためには、単に知識を修得するだけではなく、正確な情報を選び取り活用できるリテラシー能力や、多くの異なる考えの人々と意見を交わし、互いに認め合うことのできるコミュニケーション能力を高めていくことも重要です。

以上のことから、本学部に入学するにあたり、以下のことを学び、身につけておくことを希望します。

- ①国語については、資料や文章を読むための読解力と自分の考えを適切に表現するための作文能力
- ②地理歴史・公民については、歴史的事実や新聞・ニュース報道を通じて、世界の動きに関心を持つ好奇心と探究心および観察力
- ③数学については、単に公式を暗記し問題に当てはめるだけではなく、論理的な思考を展開するために必要な理解力と応用力（商業高校においては、簿記について同様の理解力と応用力）
- ④英語については、資料や文章を読むための読解力と日常生活において意思疎通を行うための基本的なコミュニケーション能力
- ⑤論理的な思考に基づいて自らの考えを口述により適切に表現できる力

**理学部**

●「教育理念」「目標」

専門的な知識・技術とともに、科学的論理性および柔軟で創造的な思考法を身につけ、現象の普遍性を明らかにすることができ、人類や地域社会の発展に寄与・貢献できる人を育成します。

●求める学生像

物理・情報科学科

- ①物理学、情報科学やこれらの学際的分野に対する向学心を持ち、将来これらの分野で活躍することを旨とする人
- ②忍耐強く勉学に励み、論理的に思考することの好きな人
- ③幅広く学び理数の基礎を身につけ、新しいことに挑戦したい人

化学科

- ①数学・理科・国語・外国語・社会に関する基礎的な知識・技能を身につけている人
- ②理科または数学の知識・技能に優れ、論理的に思考できる人
- ③問われた内容を適切に判断し、自身の考えを論理的にまとめることができる人
- ④自身の考えを他人にわかりやすく表現できる人
- ⑤化学を本格的に学び、将来化学、または化学と関連した分野の専門家として活躍する意志がある人

## 地球圏システム科学科

- ①地球科学に強い興味をもち、将来この分野での活躍を希望する人
- ②自然科学の真理を探究するため、物事を深く考えるとともに、社会、歴史、経済などにも広く関心をもつ人
- ③自らが学ぶ姿勢をもち、新たな分野に立ち向かう柔軟性とチャレンジ精神をもつ人

## ●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

### 物理・情報科学科

本学科では、物理学、情報科学及び理学一般に対する向学心を持っていることを前提としますので、入学するまでに次のものを身につけておく必要があります。

- ①数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」の基礎的な知識・技能と論理的思考法
- ②理科については、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から2科目以上の基礎的な知識・技能
- ③実験・観測で得られた知見を元に、基本的法則・原理を踏まえつつ、自然現象の有り様を論理的に探究していく姿勢
- ④国語、英語の科目については、基本的な読解力、論理的説明力、コミュニケーション能力
- ⑤地理歴史・公民については、一般常識的知識

### 化学科

化学を本格的に学び、将来化学の専門家として活躍する意志がある人を求めています。入学するまでに次のものを身につけておく必要があります。

- ①「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」を勉強し、化学の諸現象を数学的に考察して処理する能力を身につけておくこと
- ②「化学基礎及び化学」に加えて、「物理基礎及び物理」、「生物基礎及び生物」および「地学基礎及び地学」から1科目以上を修得しておくこと
- ③事物や自然現象の観察を行い、実験等を通じて自然や科学に対する関心や探求心を高め、探究する能力と態度
- ④国語と英語の科目については、実験レポートや研究論文作成のための読解力、表現力、コミュニケーション能力
- ⑤地理歴史・公民については、基本的な知識・技能

### 地球圏システム科学科

本学科では、入学後地球的視点で物事を捉え、多面的な基礎能力や素養を身につけていくことを目標としているので、入学するまでに次のものを身につけておくことが望ましい。

- ①理科の学習を通じて自然科学に深い関心をもち、その基礎的な考え方を身につけておくこと
- ②地理歴史・公民に広く関心をもち、多様な価値観や世界観、考え方があることを理解しておくこと
- ③国語や外国語をしっかりと学び、日本語による論理的な記述力やコミュニケーション能力を身につけておくこと
- ④数学の学習を通じて数学的思考法や情報処理に関する能力を身につけておくこと



## 工学部

### ●「教育理念」「目標」

山口大学工学部は、山口大学が掲げる「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」という理念のもとに、科学技術の知識のみならず、学際的な教養、地球環境や生産物に対する倫理観を持つ人材を育て、国際的に通用する技術者として社会に送り出すことを目的としています。

### ●求める学生像

#### 機械工学科

- ①機械工学を積極的に学び、ものづくりを通して地域社会・国際社会に貢献する意欲のある人
- ②数学、英語、物理的素養を持ち、力学に基づく基礎教育に十分対応できる能力を有する人
- ③機械工学の基礎学問を習得し、科学的に探究し、応用展開のできる能力を有する人

#### 社会建設工学科

- ①建設と環境に強い興味とそれらを学ぶ意欲を持つ人
- ②数学、理科、英語に関する基礎的学力を持ち、その応用力を備えた人、あるいは建設分野の専門科目の基礎知識を持ち、その応用力を備えた人
- ③協調性とチャレンジ精神を持ち、国際的に活躍する意欲を持つ人
- ④取り組むべき課題を論理的に理解、分析でき、自分の意見を文章や言葉で正確に表現できる人

#### 応用化学科

- ①化学および生物化学技術に興味があり、環境・エネルギー問題の解決や先端技術を支える物質の開発など、社会の発展のために化学技術を応用したいと考えている人
- ②化学および生物化学分野の技術者として、地域社会・国際社会に貢献する意欲を強く有する人
- ③新しい問題に自ら挑戦し、化学的手法を用いて問題を解決するための基礎的能力や意志を有する人
- ④理科、数学、英語に関する基礎学力を有する人

#### 電気電子工学科

- ①電気電子工学に強い興味と目的意識を持っている人
- ②数学、理科、英語に関する基礎学力を持っている人
- ③自主的に学習に取り組むことができる人
- ④電気電子工学の新知見を国内外に発信して、世界の産業の発展に貢献する意欲のある人

#### 知能情報工学科

- ①情報関連技術に興味を持ち、これらを学びたいと強く思っている人
- ②情報関連技術を学ぶために必要な基礎学力、特に数学、理科、英語についての基礎学力を有する人
- ③情報関連分野の技術者として、地域社会・国際社会に貢献する意欲を強く有している人

### 感性デザイン工学科

- ①建築技術に興味があり、地域社会・国際社会に建築分野の技術者として貢献する意欲を強く有する人
- ②空間のデザインと人間の感性との関連について関心がある人
- ③数学、物理、英語に関する基礎学力を有する人
- ④自主的に学習に取り組むことができる人
- ⑤取り組むべき課題を論理的に理解、分析でき、自分の意見を文章や言葉で正確に表現できる人

### 循環環境工学科

- ①環境工学に興味を持ち、学ぶ意欲を持つ人
- ②人と自然が共生するための技術やシステムの開発を通して、グローバルな環境問題の解決に積極的に取り組むチャレンジ精神を持つ人
- ③理科、数学及び英語に関する基礎学力を備えた人
- ④取り組むべき課題を論理的に理解、分析でき、自分の意見を文章や言葉で正確に表現できる人

### ●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

本学部における教育は、数学及び理科に関して優れた学力を有することを前提に行われます。また、本学部の教育目的のひとつである国際的に通用する技術者となるためには、英語についても基礎的な知識を持っておく必要があります。

したがって、本学部に入學するまでに次のものを身につけておくことが必要です。

- ①数学については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」において、個々の項目の内容を理解しておくこと
- ②理科については、「物理基礎及び物理」、「化学基礎及び化学」、「生物基礎及び生物」、「地学基礎及び地学」から2科目以上修得し、個々の項目の内容を理解しておくこと
- ③国語及び英語による文章読解力、作文力、コミュニケーション能力
- ④教養のある豊かな人間性を育むために必要な地理歴史・公民、古典及び芸術などの素養

## 国際総合科学部

### ●「教育理念」「目標」

現在、私たちは、地球環境の変動、グローバル化、高度情報化、高齢化などによって様々な変化がもたらされる社会の中で生きています。このような社会では、一つの分野の専門家だけでもしくは一つの国の中だけでは解決できない問題に取り組む必要が生じています。そのため、多様な分野の専門家やいろいろな国の人たちを結びつけチームとしてまとめあげることや、そこから新しい知識や技術を生み出すこと、それを世界もしくは地域で活用することができる人材が求められています。国際総合科学部ではそのような人材を育成することを目指しています。

そのため本学部では、幅広い学識とその活用能力の獲得や、現代社会において欠かすことのできない科学技術の基本的理解のための科目によって、基礎的な視点・方法・知識を涵養します。さらに、これらの基礎的な力を発展させ、具体的な問題について学生自身で考える科目が配置されています。また、フィールドワーク、語学、海外留学、企業や自治体と連携したプロジェクト型学習などの実践的な学習プログラムによって、社会で活かすことのできるコミュニケーション能力、課題解決能力、企画力、実践力を鍛えます。これらのカリキュラムを通して、国際舞台や地域社会の現場で直面する困難な問題を解決し、新しい価値、新しい社会を創造する人材を育てたいと考えています。

### ●求める学生像

- ①理系や文系といった学問分野の垣根を越えて、科学技術の動向や日本および国際社会の抱える問題に関心を持ち、新しい社会、新しい価値を創造していこうとする志を持つ人
- ②国際的な舞台で活躍しようとする意欲を持つ人
- ③国際的視野を持ちつつ、国内外の地域社会で活躍しようとする意欲を持つ人
- ④社会の現場で体験しながら学ぶことに関心のある人
- ⑤他者と共働して、チームとして課題に取り組むことに関心のある人

### ●大学入学までに身につけておくべき教科・科目等

本学部は、高校までに学ぶ英数国理社の幅広い分野にわたる基本的な学力を持つことを期待しています。それに加えて、普段から科学技術や現代社会についての話題に親しみ、自分の考えを持ち、それについて誰かと語り合うことなどを通して、基本的な論理的思考力とコミュニケーション能力を身につけておくことが必要です。また、自身の英語によるコミュニケーション能力を高めるために、英語の資格・検定試験などを活用することも重要です。

- ①英語については、基本的な読解力、作文力、会話力、聴解力
- ②数学については、基本的な数学の知識と数学的思考力
- ③国語については、基本的な読解力、思考力、表現力
- ④理科については、自然現象及び科学技術に関する基本的な知識、好奇心、探究心
- ⑤地理歴史・公民については、さまざまな社会現象に関する基本的な知識と問題意識

## 2. 総合型選抜で求める学生

### (1) 総合型選抜について

山口大学は、平成13年度にアドミッションセンターを設置し、平成14年度入学者選抜から総合型選抜の前身であるAO入試を行っています。総合型選抜は従来の筆記試験中心の選抜方法では見出せなかった資質を、さまざまな観点から総合的に評価しようとする入試です。

選抜試験においては、大学及び各学部・学科・コースの「アドミッション・ポリシー、総合型選抜で求める学生（入学者受け入れ方針）」に基づき、出願書類や講義等理解力試験、面接を用いて、学部・学科が求める基礎的な学力や知識・技能、思考力・判断力・表現力や主体的に学習に取り組む態度・協働性などを評価し、総合的に審査します。

なお、合格が決定した入学予定者には、入学前指導が行われることになっています。内容は学部によって異なりますが、特に本学は英語のコミュニケーション能力育成に力を入れており、入学後は全員にTOEICの受験を課し、一定基準以上のスコアの取得を義務づけている学部もありますので、入学までに英語のコミュニケーション能力を高めておくことを全学部入学予定者に求めています。

### (2) 本学が総合型選抜で求める学生

山口大学が総合型選抜で求める学生は、

- ①山口大学で勉強したいと強く希望する人
- ②自己アピールできるものを持っている人
- ③自分の考えや意見を論理的に説明できる人

上記①、②、③に加えて、各学部・学科等が総合型選抜で求める学生は次のとおりです。

## 人文学部

人間や文化について興味がある人

例えば、

- ①立ちどまって哲学的に考えてみたい人
- ②歴史が好きな人
- ③芸術が好きな人
- ④文学が好きな人
- ⑤とにかく本が好きな人
- ⑥異文化に強い関心を持つ人
- ⑦コトバや論理に興味がある人
- ⑧現代社会について好奇心が旺盛で、行動力がある人

高い英語能力を有する人

例えば、

- ①英検2級以上を取得している人
- ②TOEIC500点以上のスコアを持っている人

## 教育学部

【学校教育教員養成課程 小学校教育コース 小学校総合選修】

- ①さまざまな側面から子どもを共感的に理解し、共に成長しようとする人
- ②小学校教育に強い意欲を持ち、人や社会、自然や文化と触れ合うことで自分の考えを深めていこうとする人
- ③広い視野で学校教育の問題を考え、さまざまな人と協力しながら課題解決を図ろうとする人
- ④自他を尊重し、ボランティア活動等を通して進んで地域や社会に貢献しようとする人

## 経済学部

リーダーシップにあふれ、経済・社会について強い関心がある人中でも、

- ① 集団をまとめるような経験をしたことがある人
- ② 入学目的が具体的かつ明確な人
- ③ 卒業後の進路が明確な人
- ④ 学習意欲が旺盛でチャレンジ精神がある人
- ⑤ これだけは誰にも負けないという何かがある人
- ⑥ 理解力・表現力に優れ、人前でも堂々と自分の意見を言える人

## 理学部

### 【物理・情報科学科】

物理・情報科学科では、物理学、情報科学やこれらの学際的分野の学習及び思索を通して科学的素養を身につけ、柔軟性に富んだ発想力及び思考力を培い、広い視点をもって、社会で活躍できる人物を育成しています。その目的に沿って、物理学や情報科学に強い興味を持ち、大学で本格的にこれらを勉学する意志のある以下の要件を満たす学生を求めています。

- ① 数学、理科（物理）の基礎学力を有する人
- ② 物理学、あるいは、コンピュータや数学が好きな人
- ③ 忍耐強く勉学に励み、論理的に思考することが好きな人
- ④ 幅広く学び理数の基礎を身につけ、新しいことに挑戦したい人

### 【化学科】

化学科では、物質の変化や性質を、原子や分子のレベルで論理的に考えることができ、化学の専門家として社会で活躍できる人物を育成しています。その目的に沿って、以下の要件を満たす学生を求めています。

- ① 数学、理科（特に化学）、英語の基礎学力を有する人
- ② 化学が好きで、最先端の化学を積極的に理解する志が高い人
- ③ 身につけた知識を論理的に説明できる人

### 【地球圏システム科学科】

地球圏システム科学科では、地球科学に関する専門知識を学び、地球スケールの時空間で物事を考える力を身につけ、防災・資源・エネルギー・環境など幅広い分野で活躍できる人物を育成しています。地球と自然とに強い興味を持ち、大学で本格的にこれらを勉学する意思があり、かつ基礎学力を有し、以下の要件のいずれかを満たす学生を求めています。

- ① 理科が好きな人、クラブ活動などでの理科研究の経験のある人、あるいは科学オリンピックに参加した経験のある人
- ② 地球科学をベースに、学際的な新しい分野に立ち向かうチャレンジ精神のある人
- ③ 将来、地球科学に関わる研究者・技術者・公務員などとして社会に貢献したい人や自然科学の教育分野で活躍したい人

## 工 学 部

### 【機械工学科】

本学科は、21世紀の産業を支えている機械関連技術に関する基礎と応用を学んで、実社会で生かす能力を持つ人材を養成します。そうした人材育成の目標に照らし、本学科では次のような学生の入学を求めています。

数学(数学Ⅲを含む)、理科、語学(特に英語)の基礎学力を持ち、“自然界の諸現象”と“ものづくり”とに強い興味を持っていて、それらについて具体例を挙げて他人に正しく伝えることができる人

- ①以前からメカや工作が大好きで、例えば、大学では色々な機械の動作原理や機構、さらには設計法などを基礎から積み上げて勉強したいと思う人
- ②ロボットや航空機など、電子装置やコンピュータを組み込んだ複雑なシステムの高度な性能などに興味を持ち、他技術と融合した高度機械の勉学をしたいと思う人
- ③課題解決の意欲と行動力とを合わせ持ち、課題解決活動や創造活動において他人と協調的な作業ができる人

### 【社会建設工学科】

社会建設工学科は、以下の項目の要件を兼ね備えた人を求めています。

- ①建設と環境に強い興味とそれらを学ぶ意欲を持つ人
- ②基礎的な数学、理科、英語の知識を有し、設問や演習を通じて課題を探究できる人、または環境及び建設に関する学習経験のある人
- ③協調性とチャレンジ精神を持ち、国際的に活躍する意欲を持つ人
- ④提示された資料、課題を論理的に理解、分析でき、自分の意見を文章や言葉で正確に表現できる人

### 【応用化学科】

化学は豊かな人間生活を支える様々な素材を生み出します。本学科は、化学技術によって人類福祉に貢献できる技術者、研究開発者を養成します。そうした人材育成の目標に照らし、本学科では次のような人が入学することを希求しています。

- ①化学、生物、物理に関係する科目の中から2科目以上を履修し、履修科目に関する基礎学力を備えた人
- ②生活の中で用いられている製品や素材に不満を持ったことがあり、その性質や性能の改善ができないか具体的に考えたことがある人
- ③“物質”の変化や反応、“生きもの”が持つ機能、“物質”と“エネルギー”の関係、などを化学の立場から学びたいと思う人
- ④計画性と細心の注意を持って調査や研究を行うことができ、新たな現象を見出すことに強い意欲を持つ人

### 【電気電子工学科】

本学科では、エレクトロニクス、電気システム、情報通信、電力エネルギーなどに関する電気電子工学の基礎を学び、実社会で生かす様々な応用能力の養成を行います。そうした人材育成の目標に照らし、本学科では数学(数学Ⅲを含む)、理科、語学(日本語・英語)に関する基礎学力を持つ人で、かつ次のいずれかの条件を満たす入学者を求めています。

- ①数学と理科に関連した複数の履修科目の面白さに関して具体例を挙げつつ他人に正しく伝えることができる人
- ②人間の五感で感じ取ることができない電磁現象やマイクロな世界、及び人間生活で使われる種々の電気電子機器の原理などに興味を持ち、将来は高度技術者や研究開発者として活躍したいと思う人
- ③エレクトロニクス、電子システム、情報通信、電気エネルギーの4つの分野のいずれかにおいて、将来の夢や興味がある事項などを具体的に挙げながら他人に分かりやすく説明できる人
- ④今まで遭遇した困難な課題、または創造活動の事例について説明でき、その課題解決や創造活動の際にとった自分の行動を他人に分かりやすく説明できる人

### 【知能情報工学科】

本学科は、コンピュータ科学、人工知能技術、ネットワーク技術、コミュニケーション技術などの情報技術分野に興味を持ち、実社会で活躍できる情報技術者あるいは研究開発者を養成します。こうした人材育成目標に基づき、本学科では数学（数学Ⅲを含む）・理科・語学に関する十分な学力を有し、かつ、次のいずれか一つ以上に当てはまる人の入学を期待します。

- ①特に数学における論理的思考の面白さあるいは重要性について具体例を挙げつつ他人に正しく伝えることができる人
- ②コンピュータとその応用分野に強い興味を持ち、論理的思考力と複雑な事象を整理し把握する能力を持ち、豊かな人間社会に役立つ情報技術を身につけて自分の夢も実現したいと考える人
- ③プログラミング言語を用いてプログラミングをしたことがある人の場合、その動機、実際に作成したプログラムの機能、所期の目的を達したかどうか、開発に要した時間など、具体例を挙げながら他人に伝えることができる人
- ④今まで遭遇した困難な課題、または創造活動の事例について説明でき、その課題解決や創造活動の際にとった自分の行動を他人に分かりやすく説明できる人

### 【感性デザイン工学科】

本学科では、人の感性の多面性や多様性に興味を持ち、人の感性を大切に建築分野で活躍できる技術者や研究者を養成します。本学科では、数学（数学Ⅲを含む）・物理学・語学（日本語・英語）の基礎学力を持つ人で、かつ次のいずれかの条件を満たす人の入学を期待しています。

- ①美術やデザインに関する創造活動を経験したことがあるなど、建築設計やデザインに対する関心が高い人
- ②建築学に関する幅広い専門知識を習得して、社会や自然環境に及ぼす建築の影響を理解しつつ社会の要求に応えるエキスパートを目指す人
- ③人に自分の意見や感情を分かり易く説明でき、協調して問題解決ができる人

### 【循環環境工学科】

本学科では、持続可能な社会の構築に貢献できる技術者及び研究開発者を育成します。こうした人材育成目標に基づき、本学科は以下のような人の入学を期待しています。

- ①環境工学に興味を持ち、学ぶ意欲を持つ人
- ②人と自然が共生するための技術やシステムの開発を通して、グローバルな環境問題の解決に積極的に取り組むチャレンジ精神を持つ人
- ③理科、数学及び英語に関する基礎学力を備えた人
- ④取り組むべき課題を論理的に理解、分析でき、自分の意見を文章や言葉で正確に表現できる人

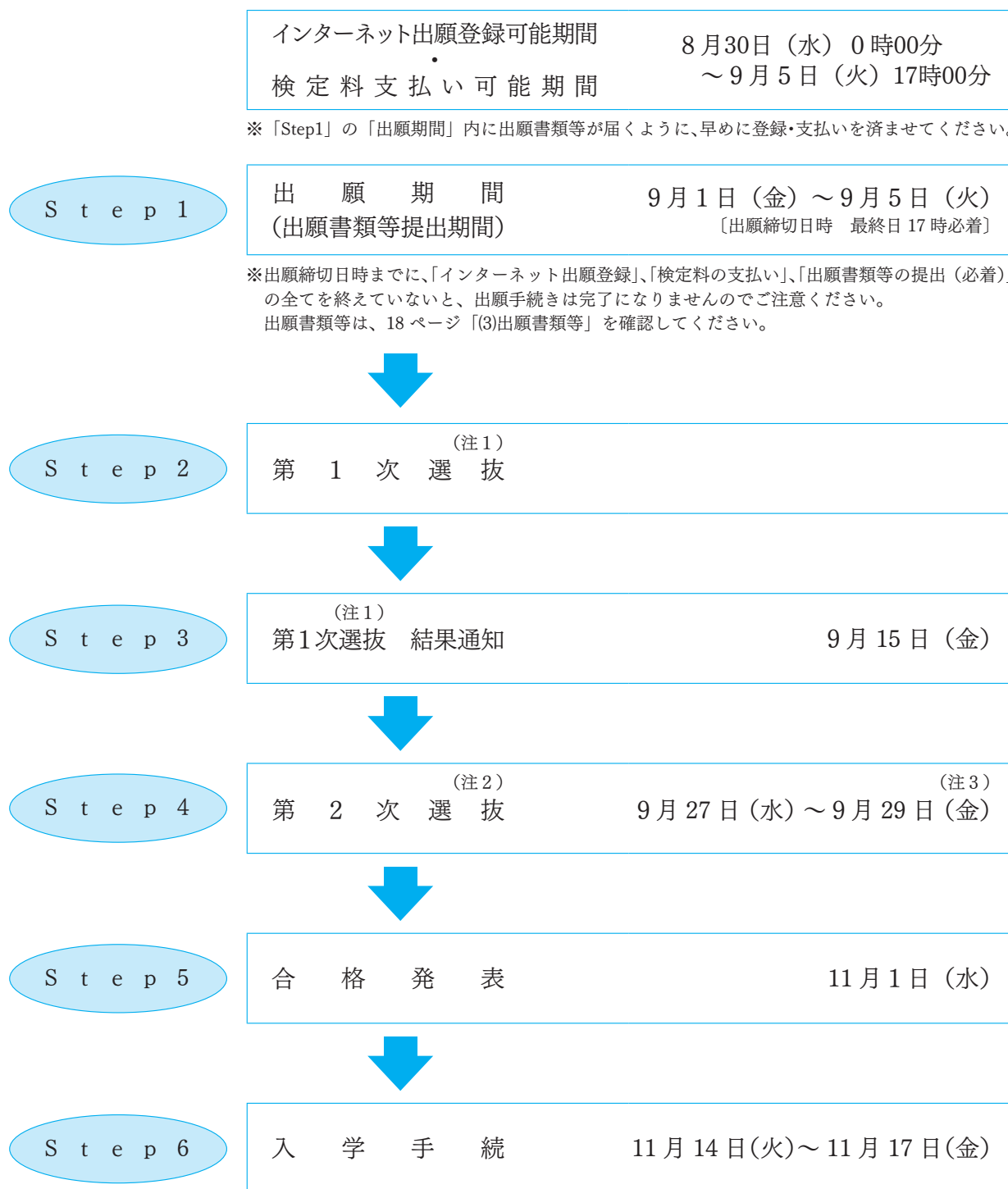
## 国際総合科学部

- ①積極的に海外に出て、多様な背景を持つ人たちと交流し、国際的な視野を得ようという意欲を持つ人
- ②高い英語能力を持つ人で、リーディング、ライティング、リスニング、スピーキングの4技能すべてに優れている人
- ③さまざまな人と協力しながら、社会が抱える課題を解決しようとする志を持つ人

各学部・学科等の案内については、裏表紙に記載のホームページも参照してください。

## Ⅱ. 募 集 要 項

### 1. 日 程 概 要



(注1) 第1次選抜は、志願者数が募集人員の3倍を超えた募集単位において実施します。

(注2) 第2次選抜は、学部・学科等によって実施日・試験会場が異なります。詳しくは、25ページ「(3)第2次選抜 ア. 第2次選抜の日程等」を参照してください。

(注3) 台風等のため、所定の日時に第2次選抜を実施できない場合は、10月7日(土)～10月9日(月・祝)の期間で試験を実施します。その場合は、本学ホームページなどで通知します。

(<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>)



## 2. 募 集 人 員

総合型選抜による募集は、総合型選抜実施学部・学科等の入学定員枠内で行います。

学 部	学 科 ・ 課 程 等	入 学 定 員 <sup>*</sup>	総 合 型 選 抜 募 集 人 員 <sup>**</sup>
人 文 学 部	人 文 学 科	185	7
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程 (小学校教育コース小学校総合選修)	180 (40)	10
経 済 学 部	経 済 学 科	130	30
	経 営 学 科	165	
	観 光 政 策 学 科	50	
	計	345	30
理 学 部	物 理 ・ 情 報 科 学 科	60	5
	化 学 科	40	4
	地 球 圏 シ ス テ ム 科 学 科	30	4
	計	130	13
工 学 部	機 械 工 学 科	90	6
	社 会 建 設 工 学 科	80	8
	応 用 化 学 科	90	8
	電 気 電 子 工 学 科	80	8
	知 能 情 報 工 学 科	80	6
	感 性 デ ザ イ ン 工 学 科	55	3
	循 環 環 境 工 学 科	55	5
計	530	44	
国 際 総 合 科 学 部	国 際 総 合 科 学 科	100	10
合 計		1,470	114

(注) \* 総合型選抜実施学部・学科等の入学定員      \*\* 総合型選抜による募集人員

- ・教育学部学校教育教員養成課程の入学定員 180 名には、小学校総合選修 40 名を含みます。
- ・経済学部の3学科の所属については、入学後に本人の希望を参考に定員や成績等を考慮して決定し、2年次から各学科に所属することとなります。  
 なお、経済学科は「公共管理コース」(10名)、経営学科は「職業会計人コース」(40名)及び「企業法務コース」(40名)、観光政策学科は「観光経済分析コース」(15名)及び「観光コミュニケーションコース」(15名)を含めて募集します。各コースへの所属は、入学後に本人の希望を参考に定員や成績等を考慮して決定し、2年次から所属することとなります。
- ・選抜の結果、合格者が募集人員に満たない場合、その欠員は一般選抜(前期日程)の募集人員に加えます。

### 3. 出 願 資 格

総合型選抜に出願することができる者は、次のいずれかに該当する者で、合格した場合、入学を確約できる者としてします。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 6 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 6 年 3 月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和 6 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者
  - ① 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和 56 年文部省告示第 153 号）
  - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
  - ③ 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了した者
  - ④ 文部科学大臣が指定した者
    - ア 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEA レベル資格を保有する者（昭和 23 年文部省告示第 47 号第 20 号～第 23 号）
    - イ 国際的な評価団体（WASC、ACSI、NEASC、CIS）の認定を受けた教育施設の 12 年の課程を修了した者（昭和 23 年文部省告示第 47 号第 24 号）
    - ウ その他、昭和 23 年文部省告示第 47 号において高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者
- ⑤ 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者
- ⑥ 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
- ⑦ 学校教育法第 90 条第 2 項の規定により他の大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ※1
  - ※1 この出願資格で出願する場合は、令和 5 年 7 月 10 日（月）までに入試課（19 ページ「(4) 出願書類の郵送先」参照）に相談してください。
- ⑧ 大学において個別の入学資格審査により認めた 18 歳以上の者 ※2
  - ※2 大学における個別の入学資格審査については、31 ページを参照してください。

### 4. 出 願 手 続

#### (1) 出願方法

##### ① アカウントの作成

山口大学インターネット出願サイトにアクセスしてください。

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/webentry/index.html>

氏名、メールアドレス等の基本情報を入力し、本登録のためのアカウントを作成します。

登録が完了すると、アカウント作成時に登録したメールアドレス（※）にアカウント情報が届きます。

※今後、この登録メールアドレス宛てに大学から必要な情報を送信するので、随時着信を確認できるメールアドレスを登録してください。

また出願サイト上で登録いただく電話番号宛てに大学から連絡する場合がありますので、19 ページ「(4)出願書類の郵送先」に記載の電話番号を自身の携帯電話に登録してください。

##### ② 出願に必要な基本情報を登録する

インターネット出願サイトの表示に従って出願に必要な情報を入力し、その内容を確認してく

ださい。

証明写真は、インターネット出願サイトからアップロードします。スマートフォンやデジタルカメラで撮影したデジタル写真を準備してください。

③ 検定料の支払方法を選択し支払う

インターネット出願サイトで入学検定料の支払方法を選択してください。

検定料は、17,000 円、別途手数料（550 円）が必要です。支払期間内に必ず決済を完了させてください。

【クレジットカード】

VISA、MasterCard、JCB、American Express、Diners Club

【コンビニ】

セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ

【金融機関 ATM (Pay-easy)】

Pay-easy マークがついている金融機関の ATM で支払うことができます。

ATM で「税金・料金払込み」または「Pay-easy」を選択し、手続きしてください。

④ 出願書類の送付

提出が必要な書類（次ページ「(3)出願書類等」）一式を同封し、**特定記録郵便速達で、郵送**してください。

インターネット出願サイトから封筒貼付用「宛名ラベル」を印刷し、封筒の表（宛名）面に貼付してください。

※宛名ラベルは、検定料支払い後でなければ印刷できません。

⑤ 受験票の印刷

受験票は、インターネット出願サイトから各自で印刷してください。

受験票の印刷が可能になり次第、登録したメールアドレスにメッセージが送付されます。9 月中旬を予定しています。

(2) 出願期間

① インターネット出願登録可能期間・検定料支払可能期間：

令和 5 年 8 月 30 日（水）0 時 00 分～9 月 5 日（火）17 時 00 分

② 出願期間（出願書類等提出期間）：

9 月 1 日（金）～9 月 5 日（火）**最終日 17 時 00 分 必着**

なお郵送手続きの際は、郵便局の窓口で「特定記録郵便物受領証」を必ず受領して、大切に保管しておいてください。出願書類の配送状況については、この「特定記録郵便物受領証」の番号を使用して、日本郵便のホームページ上で確認できます。

◆日本国外から出願書類を送付する場合

出願にあたって日本国内から送付していただくことをお願いいたします。その上で、どうしても日本国外から直接送付する事情がある場合には、9 月 6 日（水）までに本学に必着するように「書留」「EMS」「DHL」「FedEx」等の郵便記録が残る方法のいずれかで送付してください。その際、E-mail 又は FAX で入試課へ下記の①～⑦を 9 月 5 日（火）17 時 [日本時間] までにお知らせください。

[E-mail : nyushi@yamaguchi-u.ac.jp FAX : + 81-83-933-5041]

①志願者氏名 ②志願者カナ氏名 ③入試種別：総合型選抜 ④出願学部・学科等 ⑤連絡先（電話番号及びメールアドレス）⑥出願書類発送日 ⑦住んでいる国・地域

注意事項

1. 「(2)出願期間」に示す期間内に「(1)出願方法」の①～④まで行わなければ出願は完了しません。
2. 検定料の支払い後は、入力事項の変更はできません。訂正を希望する場合は、出願書類を郵送する前に、19 ページ「(4)出願書類の郵送先」に記載の電話宛てに連絡してください。
3. インターネット出願の操作等に関する質問は、次の連絡先に問い合わせてください。  
※インターネット出願サイトに「よくある質問」を掲載しておりますので、そちらもご参照ください。

インターネット出願 ヘルプデスク	対応期間 8月30日(水)～9月5日(火) 10時00分～17時00分	TEL 03 - 3830 - 0287
---------------------	---	----------------------

(3) 出願書類等

1	志 願 理 由 書	<p>本学所定の用紙をインターネット出願サイトからダウンロードし、A4判(各1枚)で片面印刷し、所定の枠におさまるよう日本語で記入してください(志願者本人がボールペンで記入してください)。</p>
2	自 己 P R	
3	調 査 書	<p>(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者 文部科学省所定の様式により、令和5年4月以降に出身学校長が作成し、 厳封したものを提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査書作成上の注意事項については、21 ページを参照してください。</li> <li>・ 指導要録の「指導に関する記録」が保存期間(5年)を超えている場合、その記載を省略したもので構いません。 指導要録の「学籍に関する記録」が保存期間(20年)を超えたため、あるいは廃校、被災その他の事情により出身学校長の調査書が得られない場合は、下記ア及びイの両方の書類をもって調査書に代えることができます。</li> </ul> <p style="margin-left: 2em;">ア. 卒業(見込み)証明書 イ. 成績証明書、単位修得証明書、成績通信簿の写し(本人が保管している場合)等、入学志願者が提出可能な書類</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和6年3月修了見込みの者 所定の調査書に準じて学校長が作成したものを提出してください。</p> <p>(3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 外国における12年の学校教育の課程修了(見込み)者 卒業(修了)証明書及び成績証明書を提出してください。</li> <li>② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程の修了(見込み)者 所定の調査書に準じて学校長が作成したものを提出してください。</li> <li>③ 文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了した者 成績証明書を提出してください。</li> <li>④ 国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベル資格を保有する者 当該試験の資格証明書・成績証明書等を提出してください。</li> </ol>

3	調 査 書	<p>⑤ WASC、ACSI、NEASC、CIS の認定を受けた教育施設の 12 年の課程を修了した者 修了（見込み）証明書に加え、当該教育施設が認定を受けていることを証明する書類を提出してください。</p> <p>⑥ 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者 合格成績証明書を提出してください。 免除科目がある場合は、高校等在学期間中の調査書又は成績証明書等を併せて提出してください。</p> <p>⑦ 高等学校卒業程度認定審査に合格した者 合格証明書を提出してください。</p>
4	振 込 依 頼 書 ( 検 定 料 返 還 用 )	<p>第 1 次選抜を通過しなかった方へ検定料の一部を返還するために必要な書類です。 インターネット出願サイトから A4 判で印刷し、必要事項を記入のうえ、提出してください。</p>
5	出 願 用 封 筒 ・ 宛 名 ラ ベ ル	<p>出願書類郵送用の封筒を次の手順で準備し、出願書類（1～4、6）を封入のうえ、郵送手続きをとってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市販の封筒（角形 2 号封筒 [240mm × 332mm]）を用意する。</li> <li>・インターネット出願サイトから A4 判で宛名ラベルを印刷し、封筒に貼付する。</li> </ul> <p>なお宛名ラベルは、検定料支払い後でなければ印刷できません。</p>
6	そ の 他	<p>第 1 次選抜の加点評価項目に関し、調査書に記載ができない場合は、該当する資格・活動等を証明する書類を、出願書類とともに提出してください。</p>

- 注意事項
- ア. 出願書類に虚偽の記入をした者は、入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。
  - イ. 出願書類等に記載事項の記入もれや誤記がある場合は、受理しないことがあります。
  - ウ. いったん受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。また、出願事項の変更も認めません。
  - エ. 出願書類のうち、外国語で記載された証明書等には日本語訳を添付してください。
  - オ. 出願資格が見込みであった者が、令和 6 年 3 月 31 日までに出願要件を満たさなかった場合には、入学することができません。

(4) 出願書類の郵送先

〒 753-8511 山口市吉田 1677 - 1  
山口大学アドミッションセンター（入試課）  
T E L : 083 - 933 - 5153  
F A X : 083 - 933 - 5041  
E-Mail : nyushi@yamaguchi-u.ac.jp

(参考) 第1次選抜加点評価項目に関する調査書記載例

(2枚目)

※		※		※		※					
5. 総合的な学習の時間 の内容・評価	活動内容	第1学年：進路学習 第2学年：課題研究、研究成果発表会にて英語プレゼンテーション等（SSH コースプログラム） 第3学年：小論文学習									
	評価	第1学年：進路希望の実現に向けより良い選択をしようとしている。探求・表現活動に意欲的に取り組むことができた。 第2学年：課題研究では、グループで協力して先行研究の再現実験を行い、論文を書く際の注意点や工夫すべき点に気を付けるようになった。 第3学年：小論文作成により自己表現力を高めた。									
6. 特別活動の記録	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年				
	前期：図書委員		生徒会（書記） 文化祭企画委員		生徒会（会長）						
7. 指導上参考となる諸事項	第1学年	(1) 学習における特徴等 全ての教科において真面目な態度で取り組み、予習・復習を欠かすことなく基本事項の習得に努めた。特に生物に興味を持ち、自分の体の仕組みや病気の原因など、生物学の視点から理解しようと努めた。		(2) 行動の特徴、特技等 自主・自律の精神に富み、何事も自分で考え行動した。一度決めた事柄は最後までやり遂げる根気強さがあった。		(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等 生物部 ボランティア活動 企画・実施団体等：〇〇市 内容：〇〇市〇〇小学校における学習支援等 従事日数：合計10日間					
		(4) 取得資格、検定等 実用英語技能検定2級		(5) 表彰・顕彰等の記録 (注)・各種大会やコンクール等の内容や時期、科学オリンピック等における成績、時期 ・国際バカロレアなど国際通用性のある大学入学資格試験における成績、時期等 日本生物学オリンピック予選参加 得点：〇点（100点満点中） 順位：〇名中〇位 ※ 各オリンピックの成績表等の表記に従って記入		(6) その他 特記事項無し					
	第2学年	(1) 学習における特徴等 授業に集中して臨むことで理解を深めている。理科系科目に興味を持って学習し、実力を向上させた。		(2) 行動の特徴、特技等 納得のいかない事柄に対しては妥協することなく問題解決を求め、理解した上で行動に移した。		(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等 生物部 〇〇市主催青少年語学研修参加 期間：8月1日～8月20日(20日間) 研修地：英国					
		(4) 取得資格、検定等 実用英語技能検定準1級		(5) 表彰・顕彰等の記録 特記事項無し		(6) その他 特記事項無し					
	第3学年	(1) 学習における特徴等 予習を十分にやり、分からないところを授業で理解するという方法で理解を深めている。理科系科目に加え、英語の学習に力を入れており、努力が実り実力をつけてきている。		(2) 行動の特徴、特技等 人の嫌がる仕事も率先して引き受け、奉仕の精神や仕事に対する責任感があった。		(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等 生物部部長 ボランティア活動 企画・実施団体等：〇〇市 内容：〇〇市〇〇小学校における学習支援 従事日数：合計5日間					
		(4) 取得資格、検定等 ITパスポート試験合格		(5) 表彰・顕彰等の記録 特記事項無し		(6) その他 特記事項無し					
	第4学年	(1) 学習における特徴等		(2) 行動の特徴、特技等		(3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等					
		(4) 取得資格、検定等		(5) 表彰・顕彰等の記録		(6) その他					
8. 備考	第3学年の学習の記録、出欠の記録は1学期末までのものである。 SSH（スーパーサイエンスハイスクール）カリキュラム単位を修得										
9. 出欠の記録											
区分	学年	1	2	3	4	区分	学年	1	2	3	4
授業日数						欠席日数		0	0	1	
出席停止・忌引き等の日数						出席日数		188	189	62	
留学中の授業日数		0	0	0		備考		皆勤	皆勤	発熱1	
出席しなければならない日数		188	189	63							
この調査書の記載事項に誤りがないことを証明する											
令和 年 月 日											
学校名	〇〇〇〇高等学校										
所在地	〇〇県〇〇市〇〇 〇〇 - 〇〇										
校長名	〇〇 〇〇 印			記載責任者職氏名 教諭 〇〇 〇〇 印							

※調査書記入上の注意事項等について

出願の学部・学科等における第1次選抜の加点評価項目（23 ページ）に該当する場合は次のとおり記入してください（20 ページ記載例参照）。

- (1) 生徒会長、生徒会役員としての活動は「6. 特別活動の記録」の欄に記入。
- (2) 部活動の部長、部活動所属、海外留学・海外研修及びボランティア活動は、「7. 指導上参考となる諸事項 (3)部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等」の欄に記入。
- (3) 資格・検定試験等は、「7. 指導上参考となる諸事項 (4)取得資格、検定等」の欄に記入。
- (4) 科学オリンピック参加等については「7. 指導上参考となる諸事項 (5)表彰・顕彰等の記録」の欄に記入。
- (5) スーパーサイエンスハイスクール（SSH）カリキュラム単位を修得した者は、「8. 備考」の欄に記入（SSHカリキュラムが総合的な学習の時間に設定されている場合は、「5. 総合的な学習の時間の内容・評価」の欄に記入）。

(5) 個人情報の利用について

本選抜において出願の際に提出いただいた出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に関わる業務のほか下記の業務に利用します。なお、個人情報の保護に関する法律第18条第3項各号及び第27条第1項各号に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

- ① 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学前教育及び入学手続に関わる業務に利用します。
- ② 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身高等学校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生補導に関わる業務に利用します。
- ③ 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- ④ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- ⑤ 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テスト受験番号、合否及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に通知します。
- ⑥ その他本法人の定める「学生・保護者等に係る個人情報の取扱いについて」※に従って個人情報を利用します。
- ⑦ 「振込依頼書」に記載された個人情報については、検定料返還手続以外に利用しません。

※「学生・保護者等に係る個人情報の取扱いについて」は、山口大学のホームページでご覧いただけます。

[https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~soumuka/jyouhou/personal/policy/guide\\_student.html](https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~soumuka/jyouhou/personal/policy/guide_student.html)

## 5. 入学者選抜方法等

入学者の選抜は、第1次選抜及び第2次選抜により行います。選抜の基準は次の表のとおりです。

### (1) 配点基準一覧

学部	学科等	選抜区分	第1次選抜の配点比率						第2次選抜の配点比率	
			全学共通評価項目 (70%)			学部指定評価項目 (30%)			面接試験・講義等理解力試験 (100%)	
			調査書・ 志願理由書・ 自己PR	英語の資格・ 検定試験等	高校に おける活動	資格・ 検定試験 等	各種大会 等での 活動・顕彰	その他の 活動	面接試験	講義等 理解力試験
人文	人文学科	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	30%	70%
教育	小学校総合選修	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	30%	70%
経済	経済学 経営学 観光政策学	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	50%	50%
理	物理・情報科学 化学 地球圏システム科学	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	30%	70%
工	機械工学科 社会建設工学科 応用化学科 電気電子工学科 知能情報工学科 感性デザイン工学科 循環環境工学科	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	30%	70%
国際 総合 科学	国際総合科学科	第1次選抜	50%	10%	10%	30%			—	—
		第2次選抜	*	—	—	—	—	—	30%	70%

\* 「調査書」、「志願理由書」、「自己PR」は、面接において参考資料とし、面接に含めて評価します。

### (2) 第1次選抜

ア. 第1次選抜では、提出された「調査書」、「志願理由書」、「自己PR」及び「各学部・学科等が指定する加点評価項目」の総合評価により選抜を行います。加点評価項目は次ページの表のとおりです。



第1次選抜の加点評価項目表

学科等			人文	教育	経済	理			工	国際総合科学	
			人文学科	小学校総合選修	全学科	物理・情報科学科	化学科	地球圏システム科学科	全学科	国際総合科学科	
評価項目(注1)											
全学共通評価項目	英語の検定試験等	英検2級以上またはTOEIC (L&R) 500点以上またはGTEC 940点以上 (注2)	○	○	○	○	○	○	○	○	
		英検準2級またはTOEIC (L&R) 350～495点またはGTEC 800～939点 (注2)	○	○	○	○	○	○	○	○	
全学共通評価項目	高校における活動	部活動の部長	○	○	○	○	○	○	○	○	
		生徒会長	○	○	○	○	○	○	○	○	
学部指定評価項目	資格・検定試験等	日商簿記1級			○						
		英検準1級以上またはTOEIC (L&R) 730点以上またはGTEC 1280点 (注2)	○							○	
		英検2級またはTOEIC (L&R) 500～725点またはGTEC 940～1279点 (注2)	○							○	
		情報処理技術者試験 (ITパスポート試験または情報セキュリティマネジメント試験) (注3)				○				○	
		情報処理技術者試験 (ITパスポート試験及び情報セキュリティマネジメント試験以外) (注3)				○				○	
		実用数学技能検定 (注4)									
		(1) 1級				○				○	
		(2) 準1級				○				○	
	(3) 2級								○		
	各種大会等での活動、顕彰	科学オリンピック (日本)									
		(1-1) 物理チャレンジ (第1チャレンジ参加)				○	○	○	○		
		(1-2) 物理チャレンジ (第2チャレンジ参加者に選抜)				○	○	○	○		
		(2-1) 日本情報オリンピック (一次予選参加)				○		○	○		
		(2-2) 日本情報オリンピック (二次予選参加)				○		○	○		
		(3-1) 日本数学オリンピック (予選参加)				○		○	○		
		(3-2) 日本数学オリンピック (予選Bランク以上)				○		○	○		
		(4-1) 化学グランプリ (一次選考参加)				○	○	○	○		
		(4-2) 化学グランプリ (一次選考通過)				○	○	○	○		
		(5-1) 日本生物学オリンピック (予選参加)				○		○	○		
		(5-2) 日本生物学オリンピック (予選通過)				○		○	○		
		(6-1) 日本地学オリンピック (予選参加)				○		○	○		
		(6-2) 日本地学オリンピック (予選通過)				○		○	○		
		科学オリンピック (国際)									
		(1) 国際物理オリンピック (代表に選抜)				○	○	○	○		
		(2) 国際情報オリンピック (代表に選抜)				○		○	○		
		(3) 国際数学オリンピック (代表に選抜)				○		○	○		
		(4) 国際化学オリンピック (代表候補)				○	○	○	○		
	(5) 国際生物学オリンピック (代表候補)				○		○	○			
(6) 国際地学オリンピック (代表に選抜)				○		○	○				
その他の活動	SSHカリキュラム受講者 (注5)							○	○		
	生徒会役員			○		○	○	○			
	部活動所属 (2年以上在籍)			○					○		
	海外留学・海外研修 (期間は14日以上) (注6)			○		○	○	○	○		
	ボランティア活動 (通算で14日以上) (注7)			○							

- (注1) **第1次選抜**において加点評価対象となるのは、**高等学校等入学以降の資格・活動等**です。
- (注2) TOEIC (L&R: Listening & Reading) は Official Score Certificate (公式認定証) 記載の TOEIC テストスコアのみを有効とします。GTEC は Official Score Certificate (オフィシャルスコア証明書) 記載の Official Scoreのみを有効とします。
- (注3) **情報処理技術者試験**: 独立行政法人情報処理推進機構が行う情報処理に関する試験で、試験区分は IT の利活用に関する基礎知識を問う「IT パスポート試験」及び「情報セキュリティマネジメント試験」と、情報処理技術者に求められる知識・技能を問う「基本情報技術者試験」他数種の試験とに区分される。
- (注4) **実用数学技能検定**: 公益財団法人日本数学検定協会が行う、数学の実用的な技能(計算・作図・表現・測定・整理・統計・証明)を測る検定。
- (注5) **SSH カリキュラム受講者**: 文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール (SSH) の指定を受けた学校に在籍あるいは卒業し、SSH カリキュラム単位を修得した者 (SSH カリキュラムが「総合的な学習の時間」に設定されている場合も含む)。SSH 指定校に在籍あるいは卒業した者は、履修した教科・科目(「総合的な学習の時間」を含む)が SSH カリキュラムに該当するかどうかについて、高等学校等に確認のうえ、インターネット出願サイト上の SSH カリキュラム選択欄で選択してください。
- (注6) **海外留学・海外研修**: 高等学校等またはその他団体等が企画・主催したもので、出国から帰国までの期間が14日間以上のもの。なお、その他団体等が企画・主催したものに参加した場合は、教育的なプログラムが含まれていることを確認のうえ、調査書に団体名を明記してください。また、いずれの場合も期間(〇〇日間)を明記してください。
- (注7) **ボランティア活動**: 学校等の教育機関または公的機関(もしくはそれに準ずる団体)が企画・実施するもので、参加日数を通算(複数のボランティアを含めてよい)して14日以上であること。学校等の教育機関以外の団体が企画・実施したものについては、教育及び人格形成上有用な内容であることを確認のうえ、調査書に機関名等を明記してください。また、いずれの場合も、参加期間(〇〇日間)を企画ごとに明記してください。

#### 【注意事項】

- ① **第1次選抜の「評価項目」に該当がある場合は、調査書の所定の欄に記載**してください。調査書への記載があれば、これらを証明するための書類等の提出は必要ありません。調査書への該当事項の記載がない場合、調査書を提出できない場合等については、各種資格・活動等を証明する書類(写し可)を別途添付してください。
- ② 科学オリンピックの項目を入力する際は、23 ページを参照のうえ、下記の分類に従ってください。

- 科学オリンピック【日本】参加:(1-1)、(2-1)、(3-1)、(4-1)、(5-1)、(6-1)  
 ○科学オリンピック【日本】予選通過等:(1-2)、(2-2)※、(3-2)、(4-2)、(5-2)、(6-2)  
 ○科学オリンピック【国際】:(1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)  
 ※第18回以前の日本情報オリンピックの場合は、「予選 B ランク以上」が該当します。

イ. 第1次選抜の結果は、**令和5年9月15日(金)**に簡易書留速達で発送するとともに、第1次選抜通過者の受験番号を、山口大学入試関連情報ホームページに掲載します(10時予定)。

山口大学入試関連情報ホームページ <https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>

電話その他による合否の問い合わせには応じられません。

9月19日(火)までに第1次選抜の結果が届かない場合は、入試課(19ページ「(4)出願書類の郵送先」参照)へ連絡してください。

ウ. 第1次選抜を通過しなかった方には、納付済みの検定料のうち、13,000円を返還します。出願書類等として提出していただいた振込依頼書(検定料返還用)の振込先に返還しますので、改めて請求する必要はありません。なお返還時の振込手数料は受取人負担となります。

### (3) 第2次選抜

第2次選抜では、第1次選抜合格者に対して、学部・学科ごとに次のとおり「面接試験」及び「講義等理解力試験」を行い、提出書類等の内容と併せた総合評価により最終合格者を決定します。

※「面接試験」及び「講義等理解力試験」の両方を受験する必要があります。

#### ア. 第2次選抜の日程等

令和5年9月27日(水)～9月29日(金)

学 部	面 接 試 験		講義等理解力試験	
	日 程	会 場	日 程	会 場
人文学部	9月28日(木) 13:00～	共通教育棟	9月29日(金) 9:00～	人文学部
教育学部	9月27日(水) 13:00～		9月28日(木) 9:00～	共通教育棟 ・教育学部
経済学部	9月27日(水) 13:00～		9月28日(木) 9:00～	経済学部
理学部	9月27日(水) 13:00～		9月28日(木) 9:00～	理学部
工学部	9月28日(木) 13:00～	工学部	9月29日(金) 9:00～	工学部
国際総合科学部	9月28日(木) 13:00～	共通教育棟	9月29日(金) 9:00～	国際総合科学部

●人文学部・教育学部・経済学部・理学部・国際総合科学部・共通教育棟：吉田キャンパス

工学部：常盤キャンパス（各キャンパスへの行き方は、39ページの「交通のご案内」を確認ください）

#### 《受験上の注意》

- ①指定された試験場（会場）以外での受験は認められませんので、試験場を間違えることのないよう注意してください。
- ②受験の際は、本学の「受験票」を携帯してください。なお、入学手続の際も必要となりますので、受験後も大切に保管しておいてください。
- ③第2次選抜における各試験（面接試験・講義等理解力試験）の集合時間や集合場所・準備（持参）するもの等の詳細は、第2次選抜に関する通知の際にお知らせします。
- ④講義等理解力試験当日は、各学部が指定する時刻までに受付をすませたうえで、所定の試験室等に入ってください。  
なお、疾病等いかなる理由にかかわらず試験開始時刻後20分を経過した場合は、当該試験の受験はできません。
- ⑤試験の開始、終了及びその他の事項等は、すべて監督者の指示に従ってください。

#### イ. 第2次選抜の内容

##### ① 面接試験

「個人面接」（人文学部・理学部）又は「集団面接」（教育学部・経済学部・工学部・国際総合科学部）を行います。複数の面接委員が勉学意欲、明確な目的意識、自己表現力などを中心に総合的な評価をします。

② 講義等理解力試験

講義等理解力試験の実施内容	
学部	実施内容・時間（時間は目安です）
人文学部	講義（90分）を行い、その講義に関するレポート（90分）を課します。理解力、分析力、論理的思考力、表現力、ならびに人文学部アドミッション・ポリシーへの適合性を総合的に評価します。
教育学部	〈小学校教育コース 小学校総合選修〉 前半は、講義（約50分）を行い、その講義に関する課題及びレポート（60分）を課します。後半は、別途課題を提示し、課題に関するプレゼンテーション（資料作成30分、発表3分以内、質疑）を行います。理解力、整理分析力、論理的思考によって結論を導く力、その過程と結論を的確に表現する力を総合的に評価します。
経済学部	講義（90分）を行い、その講義に関するレポート（90分）を課します。その後、講義に関連した課題を提示し、グループディスカッション（25分）を行います。学部アドミッション・ポリシーへの適合性を計るとともに、リーダーシップ、理解力、表現力、積極性等を総合的に評価します。
理学部	〈物理・情報科学科〉 講義（70分）を行い、その講義に基づくレポート（70分）を課します。その後、レポートの内容に基づいての質疑応答（15分）を行います。以上により、基礎学力、理解力、論理性、積極性、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
	〈化学科〉 講義（70分）を行い、その講義に基づくレポート（70分）を課します。その後、化学に関する質疑応答（15分）を行います。以上により、基礎学力、理解力、論理性、積極性、コミュニケーション能力を総合的に評価します。
	〈地球圏システム科学科〉 講義（60分）を行い、その講義に基づくレポート（70分）、グループディスカッション（120分）を行います。積極性、論理性、理解力を総合的に評価します。
工学部	〈機械工学科〉 数学および力と運動に関連する講義（65分）を行い、その講義に関連した基礎学力・理解力・応用能力を問うレポート作成（50分）、試験（40分）などを行います。また、英語コミュニケーション能力に関する試験（120分）を行います。これらの中で、大学でさらに進んだ内容を修得する能力と適性を総合的に評価します。なお、講義に用いる資料等には、英語を含むことがあります。
	〈社会建設工学科〉 建設、環境及びその基礎に関連する模擬講義（90分）を行い、続いて講義に関連した小テスト（30分）・レポート作成（30分）・個別の質疑応答（10分/人）を行い、基礎学力、理解能力、論理性を総合的に評価します。なお、講義に用いる資料等には、英語を含むことがあります。
	〈応用化学科〉 大学で受ける教育の初歩が体験できる講義（85分）を行います。その後、講義に対する理解力等について、個別質疑応答（15分/人）などを行い、理解力、基礎学力、論理性、積極性、コミュニケーション能力などを評価します。なお、講義に用いる資料等には、英語を含むことがあります。
	〈電気電子工学科〉 数学と物理に関する設問に対話形式で解答（各10分/人）してもらいながら、学科としての特性に対応することのできる基礎的な学力、コミュニケーション能力、及び積極性などを総合的に評価します。

講義等理解力試験の実施内容	
学部	実施内容・時間（時間は目安です）
工 学 部	<p>〈知能情報工学科〉 講義（75分）とそれに関連する小テスト（60分）を実施します。また、英語コミュニケーション能力に関するテスト（120分）を行います。それらを通じて、志願者の基礎学力、理解力、ならびに学部・学科アドミッション・ポリシーへの適合性を評価します。なお、講義に用いる資料等には、英語を含むことがあります。</p>
	<p>〈感性デザイン工学科〉 建築工学や空間デザインに関する初歩的な講義（70分）を行います。次に、その内容を基に建築工学（力学を含む）と空間デザインに関する基礎的な演習またはレポート作成（60分）を課します。また、英語コミュニケーション能力に関するテスト（120分）を行います。 以上により、学科で学ぶ内容に対応することのできる基礎的な学力、コミュニケーション能力、積極性などを総合的に評価します。なお、講義に用いる資料等には、英語を含むことがあります。</p>
	<p>〈循環環境工学科〉 環境に関する講義（60分）を行い、レポート（60分）を課します。また、個別に質疑応答（15分/人）を行います。環境問題への関心、基礎学力、国際的な視点、表現力等を総合的に評価します。なお、講義に用いる資料等には、英語を含むことがあります。</p>
国際総合 科学部	<p>講義（60分）を行い、その講義に関するレポート（50分）を課します。講義の一部は英語で行い、レポートの一部は英語で解答します。さらに、講義に関連した課題を提示して、グループディスカッション（50分）を行います。グループディスカッションは日本語で行います。これらにより、学部アドミッション・ポリシーへの適合性を計るとともに、理解力、分析力、論理的思考力、表現力、コミュニケーション能力、英語力を総合的に評価します。</p>

### 過去の講義等理解力試験におけるテーマ [令和3～5年度]

#### 人文学部

年度	学科・コース等	講義等理解力試験のテーマ
3	人文学科	・with コロナ / post コロナ時代の国際展
4	人文学科	・日本社会とアイヌ人
5	人文学科	・イメージと自我の関係

#### 教育学部

年度	学科・コース等	講義等理解力試験のテーマ
3	学校教育教員養成課程 小学校教育コース (小学校総合選修)	・PISAの調査と理科の授業 ・子どもに提示するマスコットキャラクターの創作と意図
4		・授業と教師の指導 ・学級行事と教師の指導
5		・学習と心理学 ・パンドラの箱について

#### 経済学部

年度	学科・コース等	講義等理解力試験のテーマ
3	全学科	・メディカルツーリズムについて（経済学を用いてメディカルツーリズムの起因とその内容の紹介及びメディカルツーリズムの概要及びメディカルツーリズム先進国であるタイの状況と日本の現状について理解する）
4	全学科	・ルールが作られるとき、破られるとき（ルールを作成する立場〔立法者〕と適用する立場〔裁判官〕から検討し、ルールに関する硬直的な考え方に疑問を提起し、柔軟かつ公正な解決方法を模索する）
5	全学科	・統計作成における調査計画の立て方（統計を作成する際の調査計画の重要性を理解し、どのように計画を立てるべきかを学ぶ）

理学部

年度	学科・コース等	講義等理解力試験のテーマ
3	物理・情報科学科	・論理演算と論理回路
	生物・化学科(化学コース)	・光と分子の相互作用
	地球圏システム科学科	・化石と地層から探る過去の環境 ・地球科学と人間生活との接点を考える
4	物理・情報科学科	・作図可能な長さ
	化学科	・身の回りの表面／界面化学
	地球圏システム科学科	・過去を見て、未来を知る。 ・私たちの生活を支えるレアメタル ～鉱物や鉱床から地球資源を考える～
5	物理・情報科学科	・漸化式を用いた方程式の解の導出
	化学科	・無機化学
	地球圏システム科学科	・岩石から大地の成り立ちを考える ・宍道湖の環境問題

※生物・化学科(化学コース)は、令和3年度から化学科に改組

工学部

年度	学科・コース等	講義等理解力試験のテーマ
3	機械工学科	・これまで学んだ数学の知識と機械システムの運動、力といった概念と関連付ける
	社会建設工学科	・河川と水環境と下水道
	応用化学科	・微生物学 目に見えないほど小さい生物 新型コロナウイルスも
	電気電子工学科	・数学：微積分、関数、方程式など ・理科：力学、電気電子工学関連分野など
	知能情報工学科	・微分法、三角関数、ベクトル
	感性デザイン工学科	・室内空気環境と換気
	循環環境工学科	・気候変動と二酸化炭素分離隔離技術
4	機械工学科	・これまで学んだ力学の知識を身近な物体の運動、収束・発散といった概念と関連付ける。
	社会建設工学科	・2地点間の距離の測定の基本的仕組みとその工学的利用に始まり、地球の丸みを考える地球科学の問題について学ぶ
	応用化学科	・有機・高分子化合物と海洋プラスチック汚染
	電気電子工学科	・数学：微積分、関数、方程式など ・物理：力学、電気電子工学関連分野など
	知能情報工学科	・情報工学の知識の一つであるグラフ理論の基礎を理解する。
	感性デザイン工学科	・建物に加わる力と変形
	循環環境工学科	・「きちんとはかる」ことの重要性
5	機械工学科	・これまで学んだ力学の知識を生体組織の構造・形態の力学的機能と関連付ける。
	社会建設工学科	・土の締固め
	応用化学科	・化学反応の速度と平衡
	電気電子工学科	・数学：微積分、関数、方程式など ・物理：力学、電気電子工学関連分野など
	知能情報工学科	・情報工学のうち重要な技術であるデータベースについての基礎を理解する。
	感性デザイン工学科	・建築物への日射・日照
	循環環境工学科	・身の回りの微粒子とPM2.5

国際総合科学部

年度	学科・コース等	講義等理解力試験のテーマ
3	国際総合科学科	・リスクマネジメント
4	国際総合科学科	・日本の新聞市場の現状とデジタル化における問題点
5	国際総合科学科	・言語の数とその変化

#### (4) 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学では、障害等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っています。相談を希望する者は、受験上及び修学上必要な配慮について協議いたしますので、次ページの様式を用いて、入試課（19 ページ「(4) 出願書類の郵送先」参照）へ申し出てください。

- ・相談内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願の予定があればできるだけ早い時期に相談してください。相談後に出願されなくても差し支えありません。
- ・**令和5年7月18日（火）**までに申し出がなかった場合は、受験上の配慮が講じられない場合もありますので十分注意してください。

なお、修学上の配慮についての詳細は、入学後に改めて協議いたします。

下の表は、事前相談が必要と思われる場合の目安です。受験に際して、配慮や支援機器等の使用を希望する場合は、事前相談が必要になります。下の表から判断できない場合や不明な場合等は、お問い合わせください。

表：事前相談の目安

区 分	障害の程度	受験上の対応実績
①視 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点字による教育を受けている者</li> <li>・両眼の矯正視力が0.3以下の者</li> <li>・視力以外の視機能障害が高度の者</li> <li>・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拡大鏡の持参使用</li> <li>・卓上ライトの貸出</li> <li>・座席の配慮</li> <li>・解答方法の配慮</li> <li>・試験時間の延長 等</li> </ul>
②聴 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者</li> <li>・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補聴器の持参使用</li> <li>・注意事項の文書伝達</li> <li>・座席配慮 等</li> </ul>
③肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者</li> <li>・上肢の機能障害により筆記をすることができない者又は困難な者</li> <li>・下肢の機能障害により歩行をすることができない者又は困難な者</li> <li>・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす・松葉杖等の持参使用</li> <li>・試験室までの移動に関する配慮</li> <li>・座席配慮</li> <li>・解答方法の配慮</li> <li>・試験時間の延長</li> <li>・別室受験 等</li> </ul>
④病 弱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車いす・松葉杖等の持参使用</li> <li>・試験室までの移動に関する配慮</li> <li>・座席配慮</li> <li>・解答方法の配慮</li> <li>・試験時間の延長</li> <li>・別室受験 等</li> </ul>
⑤発 達 障 害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため、配慮を必要とする者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・注意事項の文書伝達</li> <li>・試験時間の延長</li> <li>・別室受験 等</li> </ul>
⑥そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者</li> </ul>	

## 事前相談様式

令和 年 月 日

山口大学 副学長（教育学生担当） 殿

フリガナ  
氏 名  
性 別  
住 所 〒  
電話番号  
出身学校名

### 事前相談書

山口大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。

### 記

1. 志望する学部・学科（課程、コース）及び入試種別（例：人文学部・人文学科・総合型選抜）
2. 障害等の種類、程度
3. 受験上の配慮を希望する事項
4. 修学上の配慮を希望する事項
5. 高等学校等における生活状況等（主として授業関係）
6. その他
7. 添付書類
  - ・医師の診断書（写し可）または障害者手帳の写し ※配慮の根拠を示す書類として、いずれかを必ず添付してください。
  - ・その他相談する際に必要と思われる参考資料

（注1）相談を希望する者として、受験者本人を想定しています。事前相談書は、受験者本人が記載することを推奨いたします。内容を本人がご確認のうえ、ご相談ください。

（注2）「3. 受験上の配慮を希望する事項」、「4. 修学上の配慮を希望する事項」及び「5. 高等学校等における生活状況等」は、できるだけ具体的に記載してください。



## 6. 個別の入学資格審査

学校教育法施行規則第150条第7号により出願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を受け、入学資格が認められた場合は出願できます。

### (1) 入学資格審査の対象者

令和6年3月31日までに18歳に達する者で、次のいずれかに該当している者

- ① 学校教育における9年の課程修了を基礎とし、修了年限が3年以上である各種学校等を卒業又は修了している者（卒業又は修了見込み者を含む）
- ② 上記①に規定する各種学校等以外の学習歴、社会での実務経験等がある者

### (2) 申請書類

- ① 入学資格認定申請書（本学所定の様式※）
- ② 返信用封筒（長形3号封筒 [120mm × 235mm] を準備のうえ、封筒表面に返信先となる「申請者の郵便番号・住所・氏名」を明記し、664円分の切手を貼ってください）
- ③ (1)①で申請する場合
  - ア. 調査書又は成績証明書
  - イ. 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込み証明書
  - ウ. 学校案内、学（校）則その他カリキュラム及び卒業に必要な総授業時間数が明示されている書類

#### (1)②で申請する場合

- ア. 大学入学資格があると考えられる理由書（本学所定の様式※）
- イ. 最終学習歴の卒業（修了）証明書
- ウ. 実務経験の期間及び内容を証明する書類
- エ. 資格を保有していることを証明する書類（資格を取得している場合に限る）

※「本学所定の様式」は山口大学入試関連情報ホームページからダウンロードしてください。

### (3) 申請期限及び申請方法等

申請期限：令和5年7月10日（月）（本学必着）

申請方法：封筒表面に「入学資格認定申請書類在中」と朱書きし、特定記録郵便速達で、下記の提出先へ送付してください。

#### 提出先

〒753 - 8511 山口市吉田 1677 - 1

山口大学アドミッションセンター（入試課）

#### 問い合わせ先

山口大学入試課 電話（083）933 - 5153（受付時間は、平日の9時から17時まで）

### (4) 審査結果の通知

入学資格審査の結果は、申請者本人に郵送で通知します。

なお、入学資格を認められた者には、「山口大学入学資格認定書」を交付します。

本学への出願の際は、「山口大学入学資格認定書（写）」を出願書類に添付してください。

### (5) その他

- ・申請書類により判断し難いときは、面接その他の審査方法により、審査することがあります。
- ・入学資格を認められた者は、本学への入学を志願する場合において効力を有します。
- ・入学資格の認定を受けた者が次のいずれかに該当する場合には、認定の取消となります。
  - ア. 学校教育における9年の課程修了を基礎とし、修了年限が3年以上である各種学校等を卒業又は修了見込みで申請した場合で、当該各種学校等を卒業又は修了しないとき
  - イ. 申請書類に虚偽の内容を記載していた事実が判明したとき

## 7. 合格発表

合格者には、令和5年11月1日(水)に「簡易書留速達」で合格通知書及び入学手続関係書類を発送します。また、山口大学ホームページに、合格者の受験番号を掲載します(10時頃)。

山口大学入試関連情報ホームページ <https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>

なお、電話その他による合・否の問い合わせには、一切応じません。



## 8. 入学手続

合格者には入学手続書類を郵送しますので、所定の期日までに入学手続を完了してください。

入学手続は「入学料の納付」及び「入学手続に必要なものの郵送」です。入学料の納付のみでは、入学手続は完了となりません。「(2) 入学手続に必要なもの」を確認のうえ、期日までに必要書類を送付してください。

### (1) 入学手続期間

令和5年11月14日(火)～11月17日(金) 17時00分(本学必着)

「特定記録郵便速達」にて、上記期間内に到達することを郵便局窓口で確認のうえ、各学部(38ページ参照)に送付してください。

入学手続が完了しましたら、インターネット出願で登録されたメールアドレスに、手続きが完了した旨を通知します。

### (2) 入学手続に必要なもの

① 総合型選抜受験票	
② 入 学 料	282,000円(予定額)
③ 写 真	2枚(縦4cm×横3cm) ※1枚は学生証写真用です。高等学校等の制服以外の服装で撮影したものをご用意ください。
④ 入学届・宣誓書	合格発表時に送付します。
⑤ 身 上 報 告 書	
⑥ 承 諾 書	
⑦ 自動払込利用申込書	

## 9. 入学時に要する経費

### (1) 入学料及び授業料

入学料(入学手続時に納付)	282,000円(予定額)
授業料(入学後に納付)	前期分 267,900円(予定額) 後期分 267,900円(予定額)

注1. 本学生募集要項公表後、令和6年度入学者に係る入学料、授業料の改定を本学として決定した場合は、改定後の額となります。また、既に納入されていた場合は改定額との差額を納入していただくこととなります。

2. 在学中の授業料の納付は、入学手続時にゆうちょ銀行へ提出する自動払込利用申込書(入学手続書類とともに郵送します)に基づき、前期分は5月末日、後期分は11月末日(末日が土・日曜の場合は、その前の平日)にゆうちょ銀行の学生(又は学資負担者)名義の口座から自動的に引き落とし大学に納付することとなります。引落日の前日までに必ず入金しておいてください。

3. 自動払込利用申込書の作成手続は、ゆうちょ銀行に学生（又は学資負担者）名義の口座を開設（既に口座がある場合はその口座を使用します）し、ゆうちょ銀行へ提出することになります。
4. 入学料の免除及び授業料の免除を希望する者は、35 ページを参照してください。  
（授業料免除の申請を行う場合も自動払込利用申込書の提出が必要となります）
5. 授業料は在学中に授業料改定を行った場合、新授業料を適用します。

(2) その他の諸経費

項 目	人文学部	教育学部	経済学部	理 学 部	工 学 部	国際総合科学部
学生健康保険組合費 （予定額）	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
※1 学生教育研究災害 傷 害 保 険 料 （予定額）	4,660円	4,660円	4,660円	4,660円	4,660円	4,660円
後 援 会 費	20,000円	20,000円	30,000円 (学会費含む)	30,000円	20,000円	20,000円
同 窓 会 費	10,000円	20,000円	20,000円 (入会積立金)	15,000円	※2 初年度 25,000円 (4年間合計 100,000円)	10,000円
合 計	44,660円	54,660円	64,660円	59,660円	59,660円	44,660円

- ※1 学生教育研究災害傷害保険料は、学研災付帯賠償責任保険を含みます。なお、学研災付帯学生生活総合保険に加入される方は、別途保険料が必要です。
- ※2 工学部の同窓会費（終身会費 100,000 円）は、一括または分割（半期ごとに 12,500 円、4 年間で計 8 回）による払込となります。
- ※3 山口大学から海外に留学する場合、留学保険や危機管理サービスへ加入するための費用が必要になります（留学期間等により金額は異なります）。
- ※4 その他教材費として教科書、参考書、実験・実習経費及び TOEIC 受験料等の経費が必要になります。
- ※5 上記の諸経費の他に、学部・学科によっては推奨ノートパソコンを選定しております。これは、「高度情報社会に対応できる人材の育成」の観点から、情報処理教育や TOEIC 等の学習などでパソコンを使用する環境を本学が提供しているためです。

学部により機種は異なりますが、学内に機種選定部会を組織し、毎年 3 月頃に学部ごとに推奨機種を決定しています。これまでは、おおむね 120,000 ～ 180,000 円程度のものが選定されています。なお、選定された機種はあくまでも推奨機種ですので、授業等において必要な機能を有するものであれば、既にお持ちの機種等をお使いになっても構いません。

## 10. 入 学 準 備

合格者には、入学までの期間を有意義に過ごしてもらい、また、入学後の学修を円滑に進めることができるように、アドミッションセンターや合格した学部がレポートの提出を求めるなどの教育・指導を行います。その際、教材費が必要となります。

詳細は、合格者に対して後日通知します。

## 11. そ の 他

- (1) 総合型選抜による選抜方法は、大学・学部が求める学生像に適した資質を問う選抜であるため、合格者数が募集人員に満たない場合があります。合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は本学が実施する一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。
- (2) 入学手続を完了した者は、入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学の一般選抜（個別学力検査等）及び学校推薦型選抜を受験しても入学許可は得られません。
- (3) 検定料の返還について

次に該当した場合は納付済みの検定料を全額又はその一部を返還します。ただし、返還時の振込手数料は受取人負担となります。

ア. 第1次選抜を通過しなかった場合

検定料のうち、13,000円を返還します。24ページ「5. 入学者選抜方法等(2) 第1次選抜ウ.」を参照してください。

イ. 検定料を納付済みであるが山口大学に出願しなかった場合

ウ. 検定料を誤って二重納付した場合又は誤って所定の金額より多く納付した場合

エ. 出願書類等を提出したが出願が受理されなかった場合

イ、ウ、エに該当する場合は、下記の間い合わせ先に連絡してください。返還手続きについて案内します。

<検定料返還に関する問い合わせ先>

〒753-8511 山口市吉田 1677-1  
山口大学学生支援部入試課  
電話 (083) 933-5153

## 入試成績の情報開示

総合型選抜の成績は、受験者本人からの申請に基づき、開示を行います。

開示を希望する受験者は、本学が指定する期間に、入試情報開示申請書（本学様式）に本学受験票を添付し、開示申請を行ってください。詳細については、令和6年4月中旬頃に山口大学入試関連情報ホームページに掲載する予定です。

山口大学入試関連情報ホームページ <https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/>

## 入学料及び授業料の免除制度

### 1. 高等教育修学支援新制度（給付奨学金・入学料免除・授業料免除）

住民税非課税世帯及びこれに準じる世帯の日本人の学部学生は、世帯の所得金額に基づいて決定された区分に応じて奨学金（日本学生支援機構給付奨学金）が給付され、併せて授業料及び入学料が減免されます。

#### (1) 申請を行うことができる方

- ア 日本学生支援機構の給付奨学生採用候補者となった方
- イ 出身高等学校等で日本学生支援機構の給付奨学金の申し込みを行い、選考中の方
- ウ 大学に入学後、日本学生支援機構の給付型奨学金申し込みを行う予定である方

#### (2) 申請方法

日本学生支援機構の給付奨学金への申し込みのほか、入学手続の際に、別途、本学に入学料及び授業料の免除を申請する必要があります。詳細については、合格時に郵送される「入学の手引」でお知らせします。

免除の申請をした方は免除決定の日まで授業料及び入学料の納入が猶予されます。

免除の許可・不許可については、高等教育修学支援新制度の支援区分に応じて認定し、結果を通知します。不許可、2/3 免除及び 1/3 免除の方は、本学が指定する期間に所定の金額を納入しなければなりません。納入しなかった場合、除籍となり、大学に在籍できなくなりますので注意してください。

### 2. 特別待遇学生制度

特別待遇学生制度とは、本人の申請に基づかず、在学中の学業成績が特に優れ、かつ、人物優秀であると認められる学生を、学部長の推薦に基づき各学部各学年から選考し、各期分の授業料を半額免除する制度です。ただし、1年生については後期分から選考し、特別待遇学生制度を適用します。

なお、特別待遇学生制度の内容については、在学中に変更される可能性があります。

### 3. 問い合わせ先

山口大学学生支援部学生支援課 学生サービス係 電話 (083) 933 - 5611

## ななむら 山口大学基金七村奨学金

経済的理由で修学に専念することが困難で学力優秀な学生の学生生活を支援するための返還を必要としない奨学金を給付します。

### ア 概要

対象者 令和6年度入学者で学力が優秀であり、生計維持者の収入または所得が本学で定める基準に該当する者

給付金額 月額 70,000 円×9ヶ月分（8月、9月、3月を除く）、年額 630,000 円

支援期間 所属する学部の修業年限の期間

募集人数 10名以内

### イ 申請手続等

申請手続等については、合格時に郵送される「入学の手引」に記載する予定です。

## 大規模自然災害により被災した志願者の検定料の免除

山口大学では、大規模自然災害により被災した受験生の進学機会を支援するために、本学が実施する学部及び大学院入学試験の志願者で、下記に該当する場合には、検定料免除の特別措置を行います。

検定料の免除を希望される志願者は、出願前に必ず学生支援部入試課までご連絡ください。

大規模自然災害により災害救助法適用地域において被災し、次のいずれかに該当する方

1. 主たる学資負担者が所有する居住家屋等が全壊（全焼、全流失含む。）、大規模半壊、半壊（半焼含む。）、浸水等の被害を受けた場合
2. 主たる学資負担者が当該災害により死亡又は行方不明の場合

※免除の対象及び期間について

本件は、災害発生後に実施される入学試験が対象となります。期間については、原則、当該災害が発生した年度及び翌年度の2年間が対象となります。詳細は下記問い合わせ先で確認してください。

検定料免除に関する問い合わせ先

山口大学学生支援部入試課 電話 (083) 933 - 5153

## 学生寮及びアパート等

本学には、吉田、小串（医学部）、常盤（工学部）の3つのキャンパスがあります。医学部・工学部の新入生も、入学後1年間は吉田キャンパスで修学することになりますので、ここでは吉田キャンパスの学生寮及び吉田キャンパス周辺のアパート等についてご案内します。

### 1. 学 生 寮

令和6年4月からの入寮者募集を下記のとおり予定しています。なお、令和6年度学生寮募集要項（新入生用）の公開は令和6年1月上旬を予定しています。

また、今後の学生寮の詳細情報については、ホームページで随時ご案内します。

URL : <https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~st-support/st-support-center/tebiki/gaku-seikatsu-useful-information/residence/gakuseiryoku/index.html>

「山口大学ホームページ（受験生の方）」→「キャンパスライフを知りたい」→「学生寮」へ進んでください。

### (1) 募集人員等

対 象 学 生	学 部 新 入 生			
寮 名 等	吉田寮1号棟 (男子)	吉田寮2号棟 (男子)	榎野寮1号棟 (女子)	榎野寮2号棟 (女子)
所 在 地	山口市吉田 1677 - 1			
居 室	1人部屋、約 14㎡	1人部屋、約 18㎡	1人部屋、約 14㎡	1人部屋、約 18㎡
収 容 定 員	176人	130人	89人	69人
募 集 人 員	未定	未定	未定	未定
寄 宿 料 (月額)	16,500円	24,300円	16,500円	24,300円
入寮費 (入寮時のみ)	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円
諸 経 費 (月額)	500円	500円	500円	500円
居 室 設 備	バス、トイレ、ミニキッチン、エアコン、クローゼット、下駄箱、吊り本棚、机、ベッド、照明器具 (蛍光灯)、カーテンレール (2連)			

### (2) 申請方法等

#### ア. 申請期間

令和6年度学生寮募集要項 (新入生用) において公表します。

#### イ. 募集要項

「山口大学ホームページ (受験生の方)」 → 「キャンパスライフを知りたい」 → 「学生寮」 に掲載します。(令和6年1月上旬掲載予定)

#### ウ. 選考方法

入寮の選考は、保護者等の経済的困窮度 (所得や家庭状況等) 等を総合的に判断します。

#### エ. 入寮選考結果発表

令和6年度学生寮募集要項 (新入生用) において発表方法等を公表します。

### (3) 問い合わせ先

山口大学学生支援部学生支援課 支援企画係 電話 (083) 933 - 5074・5152

## 2. アパート等紹介

本学 (吉田キャンパス) 周辺には多数のアパート等があり、これらの紹介は、山口大学生生活協同組合や不動産業者等で行っています。

### (1) 紹介物件

家賃は地域、建物の築年数、設備等により異なりますが、吉田地区においてはおおむね下記のとおりになっています。

6帖 (一部共同) 10,000円～30,000円程度

各室バス・トイレ・キッチン付 17,000円～50,000円程度

なお、敷金は0～2ヶ月分、礼金は0～1ヶ月分、仲介手数料は0～1ヶ月分+消費税の家賃相当額を必要とします。

### (2) 問い合わせ先

山口大学生生活協同組合 電話 (083) 933 - 0615

## 問い合わせ窓口

### 1. 総合型選抜に関する問い合わせ先

問い合わせ先	電 話	所 在 地	
山口大学アドミッションセンター (入試課)	(083) 933 - 5153	〒 753 - 8511	山口市吉田 1677 - 1

### 2. 教育内容に関する問い合わせ先

問い合わせ先	電 話	所 在 地	
人 文 学 部 入試担当係	(083) 933 - 5209	〒 753 - 8540	山口市吉田 1677 - 1
教 育 学 部 ”	(083) 933 - 5307	〒 753 - 8513	
経 済 学 部 ”	(083) 933 - 5506	〒 753 - 8514	
理 学 部 ”	(083) 933 - 5210	〒 753 - 8512	
工 学 部 ”	(0836) 85 - 9009	〒 755 - 8611	宇部市常盤台 2 - 16 - 1
国際総合科学部 ”	(083) 933 - 5289	〒 753 - 8541	山口市吉田 1677 - 1

### 3. その他

奨学金制度に関する質問	学生支援課	(083) 933 - 5165
入学料及び授業料の免除に関する質問	学生支援課	(083) 933 - 5611
授業料の納付方法に関する質問	財 務 課	(083) 933 - 5098
学生寮に関する質問	学生支援課	(083) 933 - 5074



# 交通のご案内

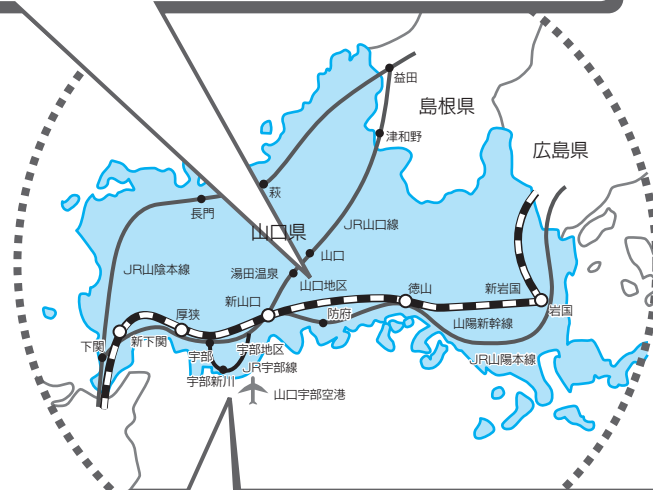


## 吉田キャンパス

■ 文学部・教育学部・経済学部  
理学部・国際総合科学部

山口市吉田1677-1

- JR新山口駅からJR山口線「湯田温泉駅」下車。  
JR湯田温泉駅入口バス停からJRバス山口大学行「山口大学」下車。  
(徒歩の場合、JR湯田温泉駅から約25分)
- JR新山口駅北口(在来線口)から防長バス「県庁前(平川経由)」行「山口大学前」下車。徒歩約3分。
- JR新山口駅から車で約30分。
- 湯田温泉スマートインターチェンジから車で11分。

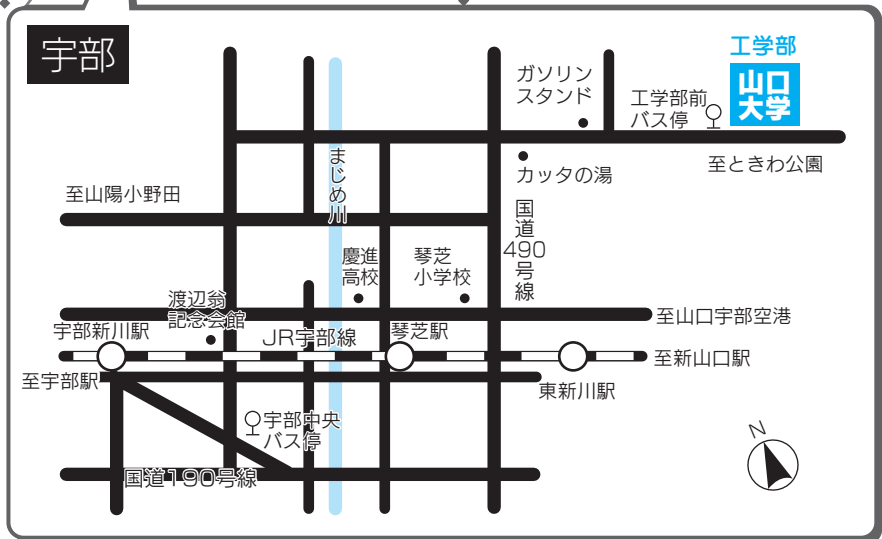


## 常盤キャンパス

■ 工学部

宇部市常盤台2丁目16番1号

- JR新山口駅またはJR山陽本線宇部駅からJR宇部線「宇部新川駅」下車。  
駅前バス停から宇部市営バス(下記のいずれか)に乗りし、「工学部前」下車。徒歩約3分。  
・参宮通經由ひらき台行  
・参宮通經由ひらき台・交通局行  
・めぐりな(東部市内循環線)  
・萩原循環線
- 山口宇部空港から車で約15分。



試験の前日及び当日の自動車・バイクの構内駐車はご遠慮ください。公共交通機関を利用してください。



\* 提出用の書式（ダウンロード用 PDF）を7月中旬に大学ホームページ（※）の「インターネット出願を利用できる入学者選抜」の項に掲載する予定です。  
その書式（A4判1枚）をダウンロードして、志願者本人がボールペンで記入してください。  
※ <https://www.yamaguchi-u.ac.jp/nyushi/webentry/index.html>

# 提出書式（見本）

# 自己PR

受験番号	※

出願番号 (6ケタ)						
---------------	--	--	--	--	--	--

※欄は記入しないでください。

↑宛名ラベルに表示されている出願番号（6ケタ）  
と同じ数字を記入してください。



---

〒753-8511 山口市吉田 1677-1  
TEL : 083-933-5153 FAX : 083-933-5041  
1677-1 Yoshida, Yamaguchi-shi, Yamaguchi 753-8511, Japan  
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

各学部・学科等の案内については、下記のホームページを参照してください。

人文学部	<a href="https://www.hmt.yamaguchi-u.ac.jp/">https://www.hmt.yamaguchi-u.ac.jp/</a>
教育学部	<a href="https://www.yamaguchi-u.ac.jp/edu/">https://www.yamaguchi-u.ac.jp/edu/</a>
経済学部	<a href="https://www.yamaguchi-u.ac.jp/econo/">https://www.yamaguchi-u.ac.jp/econo/</a>
理学部	<a href="https://www.yamaguchi-u.ac.jp/sci/">https://www.yamaguchi-u.ac.jp/sci/</a>
工学部	<a href="https://www.yamaguchi-u.ac.jp/eng/">https://www.yamaguchi-u.ac.jp/eng/</a>
国際総合科学部	<a href="https://gss.yamaguchi-u.ac.jp/">https://gss.yamaguchi-u.ac.jp/</a>



チャットボットに問い合わせ

山口大学ホームページ（入試関連情報）ではチャットボットを導入しています。チャットボットが受験者の皆様からのご質問に対して自動応答を行いますので、ホームページ内にある左のアイコンをクリックして、ぜひご利用ください。